1 型糖尿病研究基金による研究費助成決定のお知らせ

認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク

報道関係者各位

平成 29 年 3 月 27 日

不治の病“1 型糖尿病”根絶に向けた継続研究助成を決定いたしました



全国の 1 型糖尿病患者・家族を支援する私たち認定特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワーク（理事長　井上龍夫、本部　佐賀市）は、1 型糖尿病根絶（＝予防＋根治＋治療）を目指す研究の継続助成 2 件を下記の通り決定いたしました。

研究テーマ：糖尿病治療のための人工膵臓を目指した薬物放出システムの開発（3 年目）
http://japan-iddm.net/data/grant/20142015_TokyoDUniv.pdf
研究代表者：三林浩二（東京医科歯科大学 生体材料工学研究所教授）
助 成 金 額：１００万円
参　　考：三林浩二研究室（東京医科歯科大学）
http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/inst/inst-j.html

研究テーマ：iPS 細胞由来組織前駆細胞を利用した動物体内での膵臓作成法の開発（2 年目）
http://japan-iddm.net/data/grant/Yamaguchi_TokyoUniv.pdf
研究代表者：山口智之（東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター特任准教授）
助 成 金 額：１００万円
参　　考：東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター幹細胞治療分野
http://stemcell-u-tokyo.org/sct/infolist/20170126.html

今回の研究費助成は、第８回及び第９回の「１型糖尿病研究基金」公募助成研究課題の中で継続を希望されていたテーマです。グルコースをエネルギー源とした三林教授の人工膵臓、ブタの体内でヒトの膵臓をつくることを目指した山口特任准教授の研究は、1 型糖尿病根絶へ患者・家族からの期待も大きく、ますますの研究進展を期待しています。

■１型糖尿病根絶に向けた研究費助成について

日本 IDDM ネットワークでは、２００５年の１型糖尿病研究基金設立後、これまで２８件、１億１０００万円の研究費助成を行ってまいりました。

今回の２件と先日決定したバイオ人工膵島移植実現のための細胞加工センター整備費等を加えると、累計で３２件１億６２００万円となります。

また、１型糖尿病研究基金による１１回目の公募では、新たなスタートとして、若手研究者の方々が安心して基礎研究に携われる一助にもなればという想いも込めて、１型糖尿病根絶のために２０２５年までの長期継続研究助成をメニューに加えることといたしました（本年３月２１日締切)。この結果は４月２２日に大阪市立浪速区民センターで開催する当法人主催のサイエンスフォーラムで発表を予定しております。

当基金は、患者・家族自らが「不治の病を治る病にする」、「不可能を可能にする」挑戦に賛同いただいた方々からの当法人への直接の寄付並びに“佐賀県庁への「日本 IDDM ネットワーク指定」ふるさと納税”など、日本全国の方々からのご支援で成り立っています。

＜参考：日本 IDDM ネットワークサイエンスフォーラム in 大阪＞
http://japan-iddm.net/sympo_2017_osaka/
＜参考：子どもたちに注射ではなく「治る未来」を届けたい。＞
https://www.furusato-tax.jp/gcf/77
＜参考：2017 年 3 月 15 日佐賀新聞掲載＞
http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/413827

≪1 型糖尿病とは≫

原因不明で、突然小児期に発症することが多く、現在の医学水準では発症すると生涯に渡って毎日４－５回の注射又はポンプによるインスリンの補充がないと数日で死に至る難病。

糖尿病患者の大半を占める生活習慣病と称される２型糖尿病に対し、国内での年間発症率は１０万人当たり１－２人と希少な病であるため患者と家族の精神的、経済的負担は大きい。

【お問い合わせ先】
名　称：認定特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワーク
所在地：〒840-0823　佐賀県佐賀市柳町 4-13
担当者：理事長　井上龍夫、　事務局　大村あずさ
電　話：0952-20-2062、080-5127-2759（井上)、080-5243-0671（大村）
Fax　：020-4664-1804　E-mail：info@japan-iddm.net　WEB：http://japan-iddm.net/